

2021年11月10日

各位

会社名：富士石油株式会社
 代表者名：取締役社長 山本 重人
 (コード番号:5017 東証第一部)
 問合せ先：総務部 IR・広報グループ 鈴木 龍司
 TEL: (03)5462-7803
 URL: <http://www.foc.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年8月10日に公表した2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年8月10日発表)	417,200	3,400	2,500	2,900	37.63
今回修正予想(B)	440,100	3,600	2,500	3,300	42.82
増減額(B-A)	22,900	200	0	400	
増減率 (%)	5.5	5.9	0.0	13.8	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	344,612	7,098	8,293	6,528	84.72

2. 修正の理由

前回予想(2021年8月10日発表)以降の業績の動向等を勘案し、業績予想を修正いたします。

今回の修正見通しの前提として、ドバイ原油価格は下期70ドル/バレル(前回予想同65ドル/バレル)、同じく為替レートは110円/ドル(前回予想同110円/ドル)といたしました。

売上高は、前回予想比229億円増収の4,401億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格の想定を引き上げたことによる在庫影響の原価押し下げ効果の拡大を見込んでおり、営業利益36億円(前回予想比2億円増益)、経常利益25億円(同0億円増益)、親会社株主に帰属する当期純利益33億円(同4億円増益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた営業損失相当額は46億円(前回予想比20億円減益)、経常損失相当額は57億円(同22億円減益)となる見通しです。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上